

令和 3 年度第 2 回帯広市健康生活支援審議会障害者支援部会会議録

日時：令和 4 年 2 月 2 5 日（金）午後 7 時 3 0 分

場所：市役所庁舎 1 0 階 第 5 会議室 A

□会議次第

1. 開会

2. 会議

- (1) 令和 3 年度第 1 回障害者支援部会の会議録確認
- (2) 令和 4 年度帯広市障害福祉関係予算及び主要事業について
- (3) その他

3. 閉会

□配布資料

- ・資料 1 令和 3 年度 第 1 回帯広市健康生活支援審議会障害者支援部会会議録
- ・資料 2 令和 4 年度障害福祉予算の概要
- ・資料 3 令和 4 年度障害福祉予算の概要（詳細版）
- ・資料 4 令和 4 年度帯広市各会計主要事業（抜粋）

□出席委員（6 名）

細川吉博委員、畑中三岐子委員、田中利和委員、眞田清専門委員、中山典子専門委員、坂村堅二専門委員

□欠席委員（2 名）

坪井一身専門委員、丸山芳孝専門委員

□事務局

障害福祉課

家内郁子課長、梶穂課長補佐、本郷泰規障害福祉係長、山口祐平主任補

子育て支援課

関口美恵課長補佐、林健太郎子育て支援係長

## 【1. 開会】

事務局

お時間ですので始めたいと思います。それではただいまから、第2回障害者支援部会を開催させていただきます。本日はお忙しいところ、ご出席頂きましてありがとうございます。本日丸山委員、坪井委員より欠席のご連絡を頂いております。委員・専門委員8名中6名のご出席を頂いておりまして、本日の会議は成立しておりますことをご報告致します。委員の皆様及び職員の紹介につきましては、時間の関係もございますのでお席の前の表示と送付致しました委員及び専門委員の名簿、本日机前にお配り致しております座席表によりご承知頂き、割愛とさせていただきます。事前に、資料1令和3年度第1回帯広市健康生活支援審議会障害者支援部会会議録、資料2令和4年度障害福祉予算の概要、資料3令和4年度障害福祉予算の概要（詳細版）、資料4令和4年度帯広市各会計主要事業（抜粋）を送付させて頂いております。それでは、会議に入りたいと思います。細川部会長、以降の議事の進行をお願い致します。

## 【2. 会議】

### （1）令和2年度 第3回障害者支援部会会議録確認

部会長

それでは、議題に入らせて頂きます。初めに次第2（1）令和3年度第2回障害者支援部会の会議録確認について、前回の会議録をご確認頂きたいと思います。なお、この会議録は、この場でご確認頂いた後、市のホームページにて公開される予定になっております。会議時間短縮のため質問などは事前に事務局へのご連絡をお願いしておりましたが、会議録につきまして事務局より事前質問の内容等ありましたらご報告お願い致します。

事務局

質問等、事前に必要なことはございませんでした。

部会長

では本件につきましては資料1のとおり確認されましたので、このとおり公開させていただきます。

### （2）令和4年度帯広市障害福祉関係予算及び主要事業について

部会長

続きまして、（2）令和4年度帯広市障害福祉関係予算及び主要事業について、事務局よりご説明お願い致します

事務局

それでは資料2令和4年度障害福祉予算の概要(案)、資料3令和4年度予算案の概要(詳細版)に基づきご説明致します。初めに資料2をご覧頂きます。令和4年度の障害福祉関係予算につき

ましては、資料の中ほどより少し右側の一番下の欄に金額を記載してございますが75億427万5千円で、民生費の総額が329億4,731万9千円となっておりますので、22.78%となっております。前年度当初予算額70億4,134万5千円に対しまして、4億6,293万円の増となっております。予算の計上にあたりましては、これまでの実績に基づき令和3年度の決算見込みと同程度の水準でのサービス量を確保するとともに、自立支援給付費につきましては、サービス利用者の伸びを考慮しております。

続きまして、資料3をご覧ください。こちらの資料ですけれども、番号の横に事業名を記載してございます。そして令和4年度の予算額、その横には令和3年度からの増減として矢印、そしてその一番右端少し字が小さくなっておりますが、増減額を記載しております。その下に事業の目的や各事業名を記載している資料になっております。では内容につきまして、前年度対比で増減のある事業など簡単に掻い摘んで説明させていただきます。

まず、1番の障害者理解促進事業につきましては、ヘルプマークの配布や手話の出前講座などの障害者理解にかかる講習会の開催などにより、障害者の理解促進を引き続き実施してまいります。令和4年度は、8月に帯広にて開催予定の手をつなぐ育成会全道大会に対しての補助金を計上していることでもありますので、令和3年度に比べ47万3千円の増を見込んでおります。

次に、3番の地域生活支援拠点等整備推進事業につきましては、市内の指定一般相談支援事業所への委託により、障害者等の福祉に関する相談に応じ、必要な情報の提供および助言、その他の障害福祉サービスの利用支援など必要な支援を行ってまいります。また、身近な地域で相談に応じる体制を構築するにあたり、相談支援事業の周知を図るためのパンフレットを作成するなど、令和3年度と比べ7万2千円の増を見込んでおります。

次に、4番の障害者コミュニケーション支援事業につきましては、手話言語条例に定める施策として、手話通訳者派遣事業等により障害者の社会参加の促進を図る他、奉仕員の養成のための講座を引き続き開催してまいります。要約筆記通訳者の派遣件数も令和3年度の実績に基づいて予算を計上してございまして、12万3千円の減を見込んでおります。

次に、5番目の障害者日常生活支援事業につきましては、クリーニング、理美容など在宅サービスの提供や日常生活用具の給付などを実施致します。日常生活用具の交付対象件数の増加を見込みまして、110万8千円の増としております。

次に、7番の障害者自立支援給付事業につきましては、障害がある人が自立した日常生活を営むために必要な障害福祉サービスの提供を行ってまいります。令和3年度までの実績に基づき、サービス利用者数の伸びを考慮致しまして、1億3,529万8千円の増を見込んでおります。

次に、8番の障害者医療給付事業につきましては、令和4年10月より、後期高齢者医療制度に創設される窓口負担が2割となる所得階層のうち、重度心身障害者の自己負担が1割となる医療の助成を見込んでいるところですが、更生医療にかかる医療費の減額が見込まれるため、全体では937万2千円の減を見込んでおります。

次に、9番の障害者補装具給付事業につきましては、障害者が大きな経済的な負担を負うことなく、個々の状態に応じた補装具を使用することができ、日常生活における障害に起因する不都合の軽減・解消のため、補装具の購入や修理に要する費用を支給します。交付対象件数の減少により、195万5千円の減を見込んでおります。

次に、12番の地域生活支援給付事業につきましては、社会生活上必要不可欠な外出ですとか余暇活動など社会参加のための外出が円滑にできるように、支援する移動支援や障害福祉サービス事業所・障害者支援施設等を活用して活動の場を提供し、見守りや日常生活訓練などを行う日中一時支援、障害者などの居宅を訪問し浴槽を提供して入浴の介護を行う訪問入浴の提供を行うものでございます。日中一時支援事業の利用の増加が見込まれることから、287万7千円の増と見込んでおります。

次に、13番の障害者就労促進事業につきまして増減はございませんが、こちらは障害者の就労支援や就労支援にかかる相談・啓発及び研修事業を委託で実施しております。就業支援や定着支援の促進及び福祉的就労事業所の質の向上の他、企業などへの理解促進を図っております。また、職場体験実習を実施致しまして障害のある人の一般就労への関心や職業能力の向上の他、市職員の障害者に対する理解促進を図ってまいります。

次に、14番の障害者社会参加促進事業につきましては、地域活動支援センターの運営支援や障害者交通費助成などの移動に係る助成を行っており、障害のある人の社会参加の推進を引き続き図ってまいります。重度タクシー助成利用者数の減少などのため、116万円の減を見込んでおります。

次に、15番の障害者計画推進事業につきましては、令和6年度からを計画期間とする第四期帯広市障害者計画及び第七期帯広市障害福祉計画の策定に係るアンケートを実施するために90万円見込んでいます。

次に、下の方になりますけれども子育て支援課事業費です。1番介護給付・地域生活支援事業につきましては、心身障害児の心身機能の維持向上や家庭の負担軽減のためデイサービス等の提供を行います。障害者通所支援事業の利用者数の増加が見込まれるために、3億3,370万9千円の増としております。

最後に、資料の右下になりますが、地域福祉課事業費の成年後見制度利用支援事業につきましては、令和3年度予算に対し利用者数の増加が見込まれるため91万8千円の増としております。

続きまして、資料4をご覧ください。令和4年度帯広市各会計主要事業の抜粋となっておりますが、先ほど資料3の8番障害者医療給付事業でもお伝えしたところですが、令和4年10月より後期高齢者医療制度に創設される窓口負担が2割となる所得階層の方たちへの重度心身障害者の自己負担が1割となるように医療費を助成するものでございます。対象者数としましては242人を見込んでおりまして、この重度心身障害者医療給付事業費の総額は2億7,350万2千円と見込んでおります。説明につきましては以上です。

部会長

この件につきまして事務局に事前質問等ございますか。内容のご報告をお願い致します。

事務局

ご報告致しますが、この件につきましても質問等はございません。

部会長

ありがとうございます。それでは今この場で何か皆様方からご質問ご意見等ございますか。

私から、今の重度心身障害者医療給付で2割の人を1割にすることになれば、障害者の方の数は増えているわけですから増えるはずです。総額として下がっているということは、どういうことなのでしょう。ご説明頂ければありがたいです。

事務局

障害のある方の医療に係わる事業と致しまして、資料3の8番障害者医療給付事業に一括して予算が計上されています。障害者医療給付事業は総額が6億9,686万8千円となっておりますが、その中の内訳と致しまして重度医療に係る医療費の部分と更生医療に係る医療費の分が合算した事業費となっております。前年度に比べまして資料3の8の事業の右側黒三角937万2千円減、一千万弱ほど前年度より下がっておりますけれど、重度医療に係わる医療費につきましては制度改正の影響もございまして医療費自体増えているのですけれども、更生医療にかかる医療費が利用者的人数等が減少もございまして前年度より下がっています。重度医療で出た医療費よりも更生医療で減った医療費が大きかったので、その差額で1千万円弱の減が生じたところでございます。

部会長

はい、ありがとうございました。どうでしょうか、皆様他に何かご質問等ございますか。よろしいですか。もうひとつ、私は医療関係をやっていて、診療報酬関係で補装具の取り扱いがものすごく今厳しくなっております。北海道はそうでもないのですけれども、話を聞いていると東京などでは、装具を作る会社が全然関係ないものを作っているところが結構あるみたいです。診療報酬医療関係では、作ったという証明書ではなくて、現物の写真を添付せよというところが結構あると聞きました。ですから、金額としては確かに減ってきていますけれども、補装具に対する医療保険の取り扱いが最近物凄く厳しくなっている現状もあるので、市の装具屋さんに変な事をしていることはないと思いますけれど、今全国的にそういう傾向があると聞いております。ぜひ、ご検討頂けたらよろしいかと思っています。すみません、他に何かございますか。無いようでしたらこの議題に付きましては、以上で終わらせて頂きます。

(3) その他について

部会長

それでは続きまして、その他についてです。特に議題は用意していないようですが、その他につきまして事務局から事前質問の内容の報告等ありましたらお願いしたいと思います。

事務局

報告させていただきます。その他につきましても、質問等はございませんでした。

部会長

ありがとうございます。皆様他にございませんでしょうか。よろしいですか。

### 【3. 閉会】

部会長

それでは以上を持ちまして、本日の障害者支援部会を閉会とさせていただきます。次回の部会につきましては、日程が決まりましたら私からご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。どうぞお気をつけてお帰りください。